

甘櫨坐神社(奈良県高市郡明日香村)

あまかしにいますじんじゃ

正面前方が甘櫨坐神社/右手は向原寺(豊浦寺跡)境内



甘樫坐神社拝殿/本殿はこの背後にあるようだ



右手の表札に甘樫坐神社とある



右手に大きな立石がある



この立石の前で盟神探湯(くがたち)神事を行うという



くがたち 「盟神探湯」

Kugatachi, Trial in Ancient Times

盟神探湯は裁判の一種として考えられ、煮え湯の入った釜に手を入れ「正しき者にはヤケドなし、偽りし者はヤケドあり」という極めて荒い裁判の方法です。「日本書紀」によれば允恭天皇4年(415)氏姓制度の混乱を正すため、甘樫の神の前に諸氏を会して盟神探湯を行ったと伝えています。

現在では毎年4月、境内にある「立石」の前に釜を据え、嘘・偽りを正し、爽やかに暮らしたいという願いを込め、豊浦・雷大字が氏子となって「盟神探湯神事」としてその形を保存・継承しています。

「立石」と呼ばれる謎の石はこの豊浦のほか、村内の岡・上居・立部・小原などにも残っています。

明日香村大字豊浦です



参考ホームページ

<http://sora07.exblog.jp/21533686/>

<http://kamnavi.jp/it/kinki/amakasi.htm>

<http://www3.ocn.ne.jp/~tohara/nara-ask-amakasi.html>

<http://barakan1.exblog.jp/6076417/>

